

脂質異常症とは

◎ 脂質異常症の分類

① 高LDLコレステロール血症

LDLコレステロール
 \geq **140** mg/dL


② 低HDLコレステロール血症

HDLコレステロール
 $<$ **40** mg/dL

③ 高トリグリセリド血症

トリグリセリド
 \geq **150** mg/dL

◎ リスク別脂質管理目標値

 カテゴリーが **一次予防** と **二次予防** に分類、さらに一次予防は「**低リスク群**」「**中リスク群**」「**高リスク群**」に分類されました。脂質管理目標値から **総コレステロール(TC)**が削除されました。

治療方針の原則	カテゴリー		脂質異常目標値		
		LDL-C以外の 主要危険因子※	LDL-C	HDL-C	TG
一次予防 まず、生活習慣の改善を行った後、薬物治療の適応を考慮する	I (低リスク群)	0	<160	\geq 40	<150
	II (中リスク群)	1~2	<140		
	III (高リスク群)	3以上	<120		
二次予防 生活習慣の改善とともに薬物治療を考慮する	冠動脈疾患の既往		<100		

※ LDL-C値以外の主要危険因子=加齢(男性 \geq 45歳、女性 \geq 55歳)、高血圧、糖尿病(耐糖能異常を含む)、喫煙、冠動脈疾患の家族歴、低HDL-C血症(<40mg/dL)

○ 糖尿病、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症の合併はカテゴリーIIIとする。

参考：動脈硬化性疾患予防ガイドライン2007年版

脂質異常症の薬物治療

◎ 血清脂質値による薬物の使い分け

① LDLコレステロール値が高い場合



- スタチン(HMG-CoA還元酵素阻害薬)
- 小腸コレステロールトランスポーター阻害薬
- レジン(陰イオン交換樹脂)
- ニコチン酸系薬
- プロブコール

② トリグリセリド値が高い場合



- フィブラート系薬
- ニコチン酸系薬
- 多価不飽和脂肪酸

③ LDLコレステロール値とトリグリセリド値が高い場合



- スタチン(HMG-CoA還元酵素阻害薬)
- 小腸コレステロールトランスポーター阻害薬
- フィブラート系薬
- スタチン+フィブラート系薬の併用※
- スタチン+ニコチン酸系薬の併用

◎スタチン(HMG-CoA還元酵素阻害薬)の種類と特徴

※腎機能障害者では併用禁忌。横紋筋融解症には要注意

薬剤名	性質	腎排泄 (%)	半減期 (時間)	チトクローム P450	薬物相互作用	作用
メバロチン	水溶性	60	1.8	-	少ない	
リボバス	脂溶性	13	2	CYP3A4		
ローコール		6	0.9	CYP2C9		
リビトール		2	13~16	CYP3A4		強力
リバロ		<2	10	CYP2C9 (ごく軽度)	少ない	強力
クレストール	水溶性	10	20	-	少ない	強力

参考:治療学vol.36 No.5, 2002 (改),今日の治療薬2010

脂質に対する作用の比較

分類		脂質に対する作用		
		LDLコレステロール値	トリグリセリド値	HDLコレステロール値
第一世代スタチン	メバロチン	↓ ↓	↓	↑
	リボハス			
第二世代スタチン	ローコール			
第三世代スタチン	リヒトール	↓ ↓ ↓	↓ ↓	↑ ↑
	リパロ			
	クレストール			
小腸コレステロール トランスポーター阻害薬	ゼチーア	↓ ↓	↓	↑
レジン (陰イオン交換樹脂)	コレバイン	↓ ↓	大きな変動なし	↑
フィブラート系薬	リビディル・トライコア	↓	↓ ↓ ↓	↑ ↑
	ヘザトールSR			
プロブコール	シンレスタール	→ ~ ↓	大きな変動なし	↓ ↓
ニコチン酸系薬	ユヘラン	↓	↓ ↓	↑
多価不飽和脂肪酸	エパデールS	大きな変動なし	↓	大きな変動なし

↓ 10~20%

↓ ↓ 20~25%

↓ ↓ ↓ 25%以上

参考: 「きょうの健康2009.5(改)」脂質異常症治療ガイド2008(改)

主な脂質異常症用薬 併用一覧

分類	製品名	スタチン	小腸 コレステロール トランスポーター 阻害薬	レジン	フィブラート 系薬	プロブコール	ニコチン酸 系薬	多価不飽 和脂肪酸
スタチン (HMG-CoA還元 酵素阻害薬)	メバロチン		可	可	腎機能 異常患者	可	腎機能障害 のある患者	可
	リポバス			吸収阻害 (吸着)				
	リヒトール			吸収阻害 (吸着)				
	リパロ			可				
	クレストール			可				
小腸コレステロール トランスポーター阻害薬	ゼチーア	重篤な 肝機能 障害患者		吸収阻害 (吸着)	併用しないことが 望ましい	可		
レジン (陰イオン交換樹脂)	コレバイン	可			可			
フィブラート系薬	リビデイル・トライコア	腎機能 異常患者	可	吸収阻害 (吸着)		可		
	ヘサトールSR							
プロブコール	シンレスタール	可			クロフィブラート (HDL-C減少)		可	
ニコチン酸系薬	ユペラン			可				可
多価不飽和脂肪酸	エパデールS			可				

注1) 左側の製品名を中心に右の各薬効群一覧に照らし合わせてご覧ください。
 注2) 各添付文書に記載されている併用薬を「可」と表示しました。(平成22年5月現在)
 注3) 保険適応は各都道府県により異なる場合もございますのでご注意ください。

	禁忌
	原則禁忌
	併用注意

脂質異常症用薬(HMG-CoA還元酵素阻害薬)

分類	HMG-CoA還元酵素阻害薬					
商品名	メバロチン	リポバス	ローコール	リピトール	リバロ	クレストール
メーカー名	第一三共	万有	ノバルティスファーマ	アステラス	第一三共=興和	アストラゼネカ=塩野義
一般名	プラバスタチンナトリウム	シバスタチン	フルバスタチンナトリウム	アトルバスタチンカルシウム水和物	ピタバスタチンカルシウム	ロスバスタチンカルシウム
剤型・規格	細粒:0.5%(5mg/g)・1%(10mg/g) 錠:5mg・10mg	錠:5mg・10mg・20mg	錠:10mg・20mg・30mg	錠:5mg・10mg	錠:1mg・2mg	錠:2.5mg・5mg
効能	高脂血症	○	○	○	○	○
効果	家族性高コレステロール血症	○	○	○	①	○
効果	高コレステロール血症	○	○	○	②	○
用法・用量	【成人】 1日10mg 1回又は2回分服 【重症の場合】 1日20mgまで増量可	【成人】 1日1回5mg 【LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合】 1日20mgまで増量可	【成人】 <開始用量>20mg 1日1回20~30mg(夕食後) 【重症の場合】 1日60mgまで増量可	【成人】 ①1日1回10mg 【重症の場合】 1日40mgまで増量可 ②1日1回10mg 【重症の場合】 1回20mgまで増量可	【成人】 1日1回1~2mg(夕食後) 【LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合】 1日4mgまで増量可	【成人】 <開始用量>1日1回2.5mg 【早期にLDL-コレステロール値を低下が必要な場合】 5mgより投与開始可 【4週以降LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合】 漸次10mgまで増量可 【10mg投与後LDL-コレステロール値の低下が不十分で、家族性高コレステロール血症患者などの重症患者】 1日最大20mgまで増量可
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	○	○	○	○	○
	妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦	○	○	○	○	○
	重篤な肝障害のある患者	○	○	○	○	○
	胆道閉塞のある患者	○	○	○	○	○
肝代謝機能が低下していると考えられる以下の患者	○	○	○	○	○	
①シクロスポリン、ミコゾール、7-メチルグルチニド、ピリノキサミンを投与中の患者	○	○	○	○	○	
②シクロスポリンを投与中の患者	○	○	○	○	○	
腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者に本剤とプラバスタチン系薬剤を併用する場合には、治療上やむを得ないと判断される場合にのみ併用すること	原則禁忌	原則禁忌 本剤の投与量は10mg/日を超えないこと	原則禁忌	原則禁忌	原則禁忌	原則禁忌
横紋筋溶解症	○	○	○	○	○	○
血小板減少	○	○	○	○	○	○
胆管炎	○	○	○	○	○	○
無顆粒球症・汎血球減少症	○	○	○	○	○	○
肝障害	○	○	○	○	○	○
肝炎	○	○	○	○	○	○
劇症肝炎	○	○	○	○	○	○
黄疸	○	○	○	○	○	○
副作用	○	○	○	○	○	○
副作用	○	○	○	○	○	○
副作用	○	○	○	○	○	○
過敏症	○	○	○	○	○	○
皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)	○	○	○	○	○	○
中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)	○	○	○	○	○	○
多形紅斑	○	○	○	○	○	○
高血糖	○	○	○	○	○	○
糖尿病	○	○	○	○	○	○
薬価	細粒:0.5% 1g 66.70 1% 1g 124.90 錠:5mg 1T 59.30 10mg 1T 112.20	5mg 1T 129.90 10mg 1T 254.90 20mg 1T 502.50	10mg 1T 43.90 20mg 1T 78.00 30mg 1T 113.30	5mg 1T 67.10 10mg 1T 128.00	1mg 1T 72.00 2mg 1T 136.80	2.5mg 1T 76.40 5mg 1T 148.10
包装	0.5%細粒:1g×504包、B 100g 1%細粒:B 100g 5mg錠:PTP 100T・140T・500T 700T・1000T、B 1000T 10mg錠:PTP 100T・140T・300T 500T・700T・1000T、B 500T	5mg:PTP 100T・500T・700T・1000T B 500T 10mg:PTP 100T・500T・700T・1000T 20mg:PTP 28T(14T×2)・100T	10mg:PTP 100T・500T 20mg:PTP 100T・500T 700T・1000T B 500T 30mg:PTP 100T・500T・700T	5mg:PTP 100T・500T・1000T B 500T 10mg:PTP 100T・500T・700T・1000T B 500T	1mg:PTP 100T・140T・500T・700T 2mg:PTP 100T・140T・500T・700T・1000T B 500T	2.5mg:PTP 100T・500T・700T・1000T B 500T 5mg:PTP 100T・500T・700T B 500T
後発品の有無	○(0.5%細粒:×)	○	○	×	×	×

※:急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝癌、黄疸(詳しくは各添付文書参照)

参考資料:各メーカー添付文書等(詳細は添付文書をご参照ください)

㈱エバルス 薬事情報室 平成22年5月改訂

6

脂質異常症用薬(フィブラート系)

分類		フィブラート系薬					
		ビノグラック	リポクリン	ベザトールSR	ベザリップ	リピディル	トライコア
商品名		ビノグラック	リポクリン	ベザトールSR	ベザリップ	リピディル	トライコア
メーカー名		寿製薬	大日本住友	キッセイ	中外	あすか=武田=科研	大正薬品=帝人ファーマ
一般名		クロフィブラート	クリノフィブラート	ベザフィブラート		フェノフィブラート(微粉化したもの)	
剤型・規格		カプセル:250mg	錠:200mg	錠:100mg・200mg		カプセル:67mg・100mg	
効果・効能	高脂質血症	○	○				
	高脂血症(家族性を含む)				○		○
用法・用量		【成人】 1日 750~1500mg 2~3回分服	【成人】 1日 800mg 3回分服	【成人】 1日 400mg 2回分服(朝・夕食後) 【腎機能障害を有する患者及び高齢者】 適宜減量		【成人】 1日1回 134mg~201mg(食後) <1日最大投与量>201mg	
禁忌	妊婦又は妊娠している可能性のある婦人	○	○		○		○
	人工透析患者				○		
	腎不全などの重篤な腎疾患のある患者				○		
	血清クレアチニン値が2.0mg/dL以上の患者				○		
	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者				○		
	授乳婦	○	○				○
	肝障害のある患者						○
	中等度以上の腎機能障害のある患者(目安として血清クレアチニン値が2.5mg/dL以上)						○
	胆のう疾患のある患者						○
	胆石またはその既往のある患者 (原則禁忌)腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者*	○	○		○		○
重大な副作用	横紋筋融解症	○	○		○		○
	アナフィラキシー様症状				○		
	肝機能障害				○		○
	皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)				○		
	多形紅斑				○		
	黄疸				○		
	無顆粒球症	○					
膵炎						○	
薬価	250mg 1T 8.50	200mg 1T 15.30	100mg 1T 27.30 200mg 1T 42.00	100mg 1T 27.30 200mg 1T 43.60	67mg 1P 33.40 100mg 1P 43.40	67mg 1P 33.40 100mg 1P 43.40	
包装	PTP 600P・1200P・6000P B 6000P	PTP 100T・600T・1200T B 1200T	100mg:PTP 100T・500T・1000T B 500T 200mg:PTP 100T・500T・ 1000T・1400T B 1000T	PTP 100T・500T・1000T B 1000T	67mg:PTP 100P・500P・700P B 500P 100mg:PTP 100P・500P・ 700P・1000P B 500P	PTP 100P・140P・500P・700P	
後発品の有無	局方品	○		○		x	

※腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者に、本剤とHMG-CoA還元酵素阻害薬を併用する場合には、治療上やむを得ないと判断される場合にのみ併用すること

参考資料:各メーカー添付文書等(詳細は添付文書をご参照ください)

7

脂質異常症用薬(その他①)

分類	小腸コレステロールトランスporter阻害薬	ニコチン酸系薬			(レジン)陰イオン交換樹脂		植物ステロール
商品名	ゼチーア	コレキサミン	ペリシット	ユベラン	コレバイン	クエストラン	ハイゼット
メーカー名	シェリング・プラウ=バイエル	杏林	三和化学	エーザイ	田辺三菱	サノフィ・アベンティス	大塚
一般名	エゼミブ	ニコモール	ニコシトロール	トコフェロールニコチン酸エステル	コレステド	コレステミン	ガンマオリザノール
剤型・規格	錠:10mg	錠:200mg	錠:125mg・250mg	カプセル:100mg ソフトカプセル:200mg 細粒:40%(400mg/g)	ミニ粒:83%(830mg/g) 錠:500mg	粉末:44.4%(4g/9g)	細粒:20%(200mg/g) 錠:25mg・50mg
効能・効果	高脂血症	○					
	高脂血症の改善		○				
	高脂質血症				○		①
	家族性高コレステロール血症	○				○	
	高コレステロール血症	○				○	①
	下記に伴う末梢循環障害 閉塞性動脈硬化症				○		
	下記疾患に伴う末梢血行障害の改善 凍瘡、四肢動脈閉塞症(血栓閉塞性動脈 炎・動脈硬化性閉塞症)、レイノー症候群	○					
	下記疾患に伴う末梢循環障害の改善 ヒュルガー病、閉塞性動脈硬化症、 レイノー病及びレイノー症候群			○			
	レフルバドの活性代謝物の体内からの除去						②
	心身症(更年期障害、過敏性腸症候群)にお ける身体症状並びに不安・緊張・抑うつ						②
ホモ接合体性システロール血症	○						
下記疾患に伴う随伴症状 高血圧症				○			
用法・用量	【成人】 1回 10mg 1日1回(食後)	【成人】 1回 200～400mg 1日3回(食後)	1日 750mg 3回分服(毎食直後)	【成人】 1日 300～600mg (細粒:0.75～1.5g) 3回分服	【成人】 1回 1.5g (ミニ:1.81g(1包)) 1日2回 (朝・夕食前水とともに経口投与 症状・服用状況を考慮して 朝・夕食後投与も可) <1日最大投与量>4g	【成人】 ①1回 4g(本剤:9g) 水約100mLに懸濁し、 1日2～3回 ②1回 4g(本剤:9g) 水約100mLに懸濁し、 1日3回 【レフルバド製剤投与による重篤な 副作用発現時】 1回 8g(本剤:18g)を水200mLに 懸濁し、1日3回	【成人】 ①1日 300mg (細粒:1.5g) 3回分服(食後) ②1日 10～50mg (細粒:50～250mg) 【過敏性腸症候群】 1日最高50mgまで (細粒:250mg)
禁忌	重症低血圧症、出血が持続している患者	○					
	重症低血圧又は動脈出血のある患者			○			
	本剤に対し過敏症の既往歴のある患者	○		○		○	
	胆道の完全閉塞した患者				○	○*	
	腸閉塞の患者				○	○	
イオハノ酸を用いて胆嚢・胆管撮影する患者 本剤とHMG-CoA還元酵素阻害剤を併用する場 合、重篤な肝障害のある患者	○					○	
重大な副作用	過敏症 横紋筋融解症 肝機能障害		血小板減少		腸管穿孔、腸閉塞、横紋筋融解症	腸閉塞	
薬価	10mg 1T 223.90	200mg 1T 9.10	125mg 1T 9.40 250mg 1T 15.30	カプセル:100mg 1P 6.20 ソフトカプセル:200mg 1P 11.40 細粒:40% 1g 24.20	83% 1g 61.20 錠:500mg 1T 37.20	44.4% 1g 7.90	細粒:20% 1g 36.30 錠:25mg 1T 10.50 50mg 1T 11.40
包装	PTP 100T・500T・700T	PTP 100T・500T B 500T	125mg:PTP 100T・1000T 250mg:PTP 100T・1000T B 1000T	カプセル、ソフトカプセル: PTP 100P・210P(21P×10)・ 1000P・1050P(21P×50) B 500P 細粒:B 100g	ミニ顆粒:1.81g×70包 1.81g×280包 錠:PTP 100T・500T	B 200g	細粒:B 100g・500g 0.5g×200包 25mg:PTP 500T 50mg:PTP 500T B 500T
後発品の有無	×	局方品	×	○(細粒:×)	×	×	○(25mg錠:×)

* 完全な胆道の閉塞により胆汁が腸管に排泄されない患者

参考資料:各メーカー添付文書等(詳細は添付文書をご参照ください)

①



脂質異常症用薬(その他②)

分類	エラステール製剤	デキストラン硫酸ナトリウム製剤	レシチン類	プロブコール		多価不飽和脂肪酸	
商品名	エラステーム	MDSコーワ	EPL	シンレスタール	ロレルコ	エパデール	エパデールS
メーカー名	エーザイ	興和	アルフレッサ	第一三共	大塚	持田	
一般名	エラステールES	デキストラン硫酸ナトリウムイオウ	ホリエノホスファチジルコリン	プロブコール		イコサペント酸エチル(EPA)	
剤型・規格	錠:1,800エラステール単位	錠:150mg・300mg	カプセル:250mg	細粒:50% (500mg/g) 錠:250mg		軟カプセル: 300mg	カプセル:300mg・ 600mg・900mg
効能・効果	高脂血症	○		○ (家族性高コレステロール血症:黄色腫含む)		①	
	高脂質血症		○				
	高トリグリセリド血症		○				
	慢性肝疾患における肝機能の改善		○				
	脂肪肝		○				
	閉塞性動脈硬化症に伴う潰瘍、疼痛及び冷感の改善						②
用法・用量	【成人】 1日 5,400単位 (3錠) 3回分服 (食前) 【効果不十分の場合】 1日 10,800単位 (6錠)まで増量可	【成人】 150mg:1日 450~900mg 3~4回分服 300mg:1日 900mg 3回分服	【成人】 1回 500mg 1日3回	【成人】 1日 500mg (細粒:1g) 2回分服 (食後) 【家族性高コレステロール血症】 1日 1000mg (細粒:2g)まで増量可	【成人】 ①1回 600mg 1日3回 (毎食直後) 【トリグリセリドの異常】 1回900mgを1日3回まで増量可 ②1回 600mg 1日3回 (毎食直後)		
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	○	○	○			
	重篤な心室性不整脈(多源性心室性期外収縮の多発)のある患者			○			
	妊婦又は妊娠している可能性のある婦人			○			
	出血している患者*					○	
重大な副作用	・ショック		・心室性不整脈(Torsades de pointes)、失神 ・消化管出血、末梢神経炎 ・横紋筋融解症				
薬価	1,800単位 1T 17.20	150mg 1T 6.10 300mg 1T 9.50	250mg 1P 8.90	細粒:50% 1g 45.60 錠:250mg 1T 23.80	細粒:50% 1g 44.80 錠:250mg 1T 23.80	300mg 1P 48.10	300mg 1包 49.40 500mg 1包 94.70 900mg 1包 138.90
包装	PTP 100T・210T・1000T B 500T	150mg:PTP 500T・1000T・2100T B 1000T 300mg:PTP 100T・1000T・2100T B 1000T	PTP 400P・1000P・5000P B 400P	細粒:B 500g 0.5g× 600包 錠:PTP 100T・ 500T・700T・ 1000T B 500T	細粒:B 500g 0.5g× 1000包 錠:PTP 100T・ 500T・700T B 500T	PTP 100P・500P・ 1000P・1050P	84包・420包
後発品の有無	○	×	後発品	○	○	○	○

参考資料:各メーカー添付文書等(詳細は添付文書をご参照ください)

9

配合剤一覧(カデュエット)

メーカー名	ファイザー			
商品名	カデュエット配合錠1番	カデュエット配合錠2番	カデュエット配合錠3番	カデュエット配合錠4番
	(心臓血管のCardiovascularと二重奏のDuet)			
剤型・規格	アムロジピン <u>2.5mg</u> + アトルバスタチン <u>5mg</u>  外形: 6.8×6.5mm 厚さ: 3.1mm	アムロジピン <u>2.5mg</u> + アトルバスタチン <u>10mg</u>  外形: 6.4×6.4mm 厚さ: 3.3mm	アムロジピン <u>5mg</u> + アトルバスタチン <u>5mg</u>  外形: 6.6×6.2mm 厚さ: 3.0mm	アムロジピン <u>5mg</u> + アトルバスタチン <u>10mg</u>  外形: 8.5×4.7mm 厚さ: 3.3mm <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 【参考】ノルバスク5mg  外形: 8.0mm 厚さ: 3.7mm </div>
効能・効果	本剤(アムロジピン・アトルバスタチン配合剤)は、アムロジピン及びアトルバスタチンによる治療が適切である以下の患者に使用する。 高血圧症又は狭心症と、高コレステロール血症又は家族性高コレステロール血症を併発している患者			
用法・用量	1日1回1錠			
薬価	1番: 1T 94.10	2番: 1T 149.00	3番: 1T 123.30	4番: 1T 178.10
点数	9点	15点	12点	18点
包装	PTP 100T			
投与制限 (14日分)	2010年9月末まで			
参考薬価	ノルバスク錠2.5mg: 35.30 リピトール錠5mg: 67.10 合計: 102.40(10点)	ノルバスク錠2.5mg: 35.30 リピトール錠10mg: 128.00 合計: 163.30(16点)	ノルバスク錠5mg: 64.90 リピトール錠5mg: 67.10 合計: 132.00(13点)	ノルバスク錠5mg: 64.90 リピトール錠10mg: 128.00 合計: 192.90(19点)

参考文献: メーカー添付文書案 等(詳細は発売後、添付文書等を参照してください)